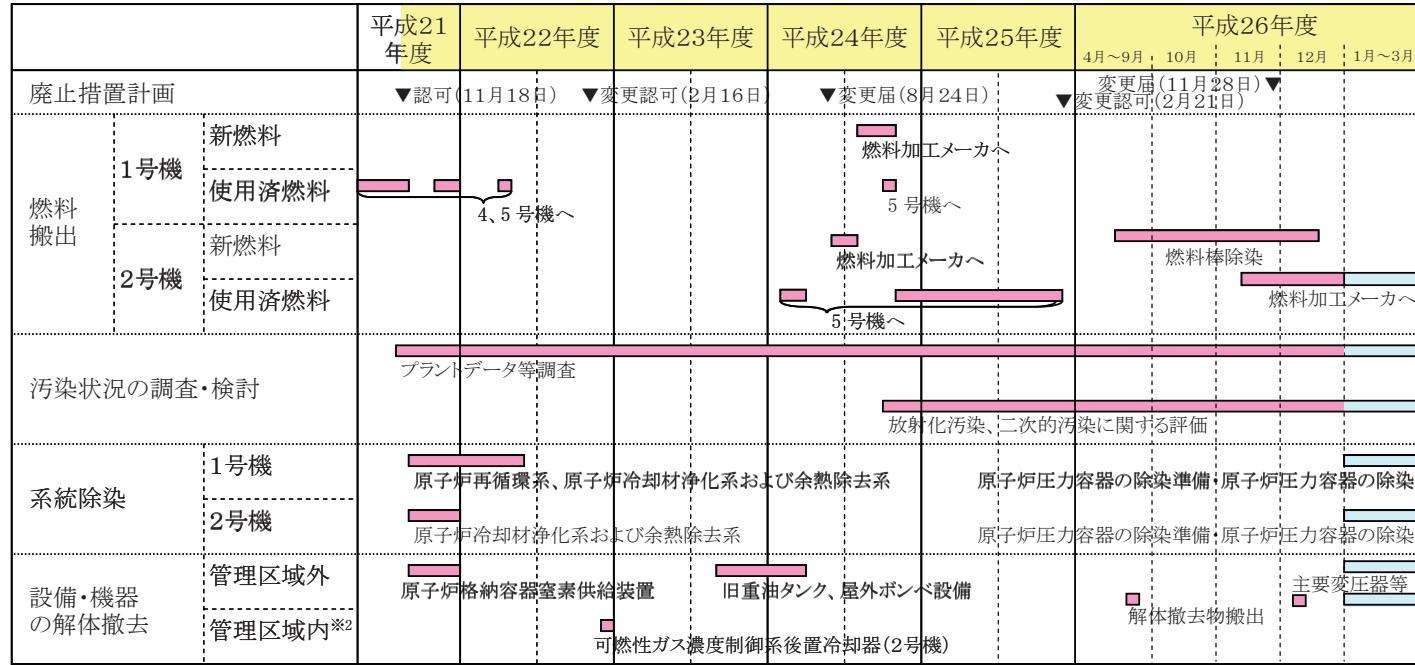


浜岡原子力発電所1, 2号機 廃止措置状況 (平成26年度 第3四半期 自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)

1 第1段階「解体工事準備期間」の進捗状況について

1, 2号機の廃止措置の第1段階「解体工事準備期間」では、燃料搬出、汚染状況の調査・検討、系統除染および設備・機器の解体撤去を実施しています。

第1段階「解体工事準備期間」の進捗状況※1



※1 本計画については、工事の実施状況、検討・評価状況等により変更となる可能性があります。
 ※2 解体工事準備期間中、管理区域内においては、廃止措置対象施設の設備・機器を他の原子炉施設又は当該廃止措置対象施設で使用することを目的とした解体撤去に限りません。

【特記事項】 ・2号機 新燃料搬出 2号機燃料プールに保管している新燃料 148 体の除染作業を完了した。 除染を完了した新燃料 148 体のうち 11 月 13 日に 36 体、12 月 18 日に 36 体を燃料加工メーカへ輸送(返送)
--

2 燃料搬出の状況について(単位:体)

(平成26年12月31日現在)

分類	保管場所	項目	1号機	2号機	備考
使用済燃料	燃料プール	貯蔵数(当初)※1	206	1,164	
		搬出数(前四半期末まで)※2	206	1,164	
		搬出数(今四半期中)	0	0	
		貯蔵数(今四半期末)	0	0	
新燃料	燃料プール	貯蔵数(当初)※1	0	148	
		搬出数(前四半期末まで)※2	0	77	除染後新燃料貯蔵庫へ移動
		搬出数(今四半期中)	0	71	
	新燃料貯蔵庫	貯蔵数(当初)※1	96	52	
		搬出数(前四半期末まで)※2	96	52	
		搬出数(今四半期中)	0	72	除染後の新燃料
		貯蔵数(今四半期末)	0	76	除染後の新燃料

※1 廃止措置計画認可申請書に記載した、平成21年4月1日時点の保管場所毎の数量。
 ※2 平成21年4月1日より平成26年9月30日までの搬出数。

3 汚染状況の調査・検討について

今四半期における作業の実績は以下のとおり。

目的	現在の状況
放射線管理区域内の設備を適切に解体撤去する計画を立案するために実施。	<ul style="list-style-type: none"> 机上調査として原子炉格納容器内設備の放射化汚染について、運転条件等を考慮した計算による評価等を実施中。 浜岡1号機の原子炉圧力容器内シュラウドから採取したサンプルを茨城県の日本核燃料開発(株)にて放射能濃度測定を実施中。

4 系統除染の状況について

今四半期において作業の実績はなし。

施設の名称	工事件名	目的(工事の概要)	作業期間	実績等
-	-	-	-	-

5 設備・機器の解体撤去の状況について

(1) 解体撤去工事の状況

施設の名称	工事件名	目的(工事の概要)	作業期間	実績等
浜岡1, 2号機 原子炉格納容器 室素供給装置 旧重油タンク 屋外ポンプ設備	設備解体撤去品 搬出工事	解体設備の分別・計量作業および構外搬出	平成26年8月25日 ～平成27年3月20日	旧重油タンクの構外搬出を完了。 原子炉格納容器室素供給設備、屋外ポンプ庫の一部の構外搬出を実施。
浜岡1, 2号機 海水連けい設備	海水連けいポンプ 取外し工事 海水連けいスクリーン 取外し工事	海水連けい設備の撤去	平成26年9月24日 ～平成27年2月27日	海水連けいポンプ、スクリーンの撤去を完了し、構外搬出のための分別計量作業を実施。
浜岡1, 2号機 再生薬品設備	再生薬品設備解体 撤去工事	再生薬品設備の解体撤去	平成26年12月8日 ～平成27年3月12日	薬品再生設備を隔離閉止し、放射線管理区域境界部については放射線測定を実施。 電線、計装品および配管、ポンプ等の付属品の撤去を実施。

(2) 放射線管理区域外の解体撤去物の発生・処分状況 (単位:トン)

(平成26年12月31日現在)

	1号機						2号機						備考
	発生量※1		処分量				発生量※1		処分量				
	今期	累計	今期		累計		今期	累計	今期		累計		
			構外※2	構内※3	構外※2	構内※3			構外※2	構内※3	構外※2	構内※3	
金属類	98.97	100.3	9.80※4	0	11.13	0	66.96	67.94	11.93※4	7.75※5	12.91	7.75	
コンクリート類	0	0	0	0	0	0	15.07	15.07	15.07※4	0	15.07	0	
その他	1.81	1.81	1.43※4	0	1.43	0	1.33	1.33	1.33※4	0	1.33	0	
合計	100.8	102.1	11.23	0	12.56	0	83.36	84.34	28.33	7.75	29.31	7.75	

※1 放射線管理区域外の解体撤去物のうち分別および計量により物量を把握できた量。
 ※2 発電所敷地外に産業廃棄物・有価物等として搬出した量。
 ※3 発電所敷地内において再利用した量。
 ※4 平成26年12月9,10日、1, 2号機旧重油タンク、屋外ポンプ設備、原子炉格納容器室素供給装置について、第三者機関による立会いのもと発電所敷地外へ搬出。(第三者機関の確認結果は添付のとおり)
 ※5 海水連けい設備の一部(ポンプ、電動機)を災害訓練用として発電所敷地内で再利用。
 注1: 第1段階では、管理区域内の解体撤去作業は廃止措置対象施設の設備・機器を他の原子炉施設又は当該廃止措置対象施設で使用することを目的とした解体撤去に限られ、「クリアランス制度の適用対象物」や「放射性廃棄物でない廃棄物」は発生していません。
 注2: 解体撤去物の発生量が確定してから搬出までに期間を要するため、発生量と処分量に差異が生じる場合があります。

6 今後の予定


翌四半期間および翌々四半期間における予定は以下のとおり。

- 燃料搬出について
2号機の新燃料について燃料加工メーカへ輸送(返送)を実施。
除染後の新燃料について第4四半期に2回に分けて搬出。
- 汚染状況調査について
原子炉圧力容器内およびその周辺の放射化汚染調査。
- 系統除染および設備・機器の解体撤去について
解体撤去済みの管理区域外解体撤去物について分別・計量後に発電所敷地外への搬出。
1, 2号機薬品再生設備、水素酸素供給設備、2号機主要変圧器の解体撤去着手。

浜岡原子力発電所1, 2号機 廃止措置状況
 (平成26年度 第3四半期 自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)

【添付 第三者機関の確認結果】

確認書

事業所名	中部電力株式会社 浜岡原子力発電所	
解体工事名	浜岡1, 2号機 重油タンク撤去工事 浜岡1, 2号機 屋外ポンベ設備撤去工事 浜岡1, 2号機 原子炉格納容器窒素供給装置撤去工事	
確認年月日	平成26年12月8日～12月10日	
確認結果	管理区域内に接続している設備の汚染確認	良
	解体撤去物の細断作業時の管理	良
	解体撤去物の一時保管時の管理	良
	解体撤去物の所外搬出に向けた車両積載時の管理	良
	解体撤去物の所外搬出時の放射線測定	良
確認者	一般財団法人 発電設備技術検査協会 	
備考	今回の立会・記録確認を実施した解体撤去物の内訳は以下のとおり。 ・重油タンク解体撤去物 金属類(1号:9.797t、2号:11.927t) その他(1号:0.498t、2号:0.572t) ・屋外ポンベ設備解体撤去物 インワート類(2号:15.072t) その他(1号:0.032t、2号:0.484t) ・原子炉格納容器窒素供給装置解体撤去物 その他(1号:0.903t、2号:0.276t)	

確認書（確認結果）の解説

【確認項目（管理区域内に接続している設備の汚染確認）】

- 解体撤去物が放射線管理区域内に接続し汚染の恐れがある気体または液体と直接接触する可能性があった場合、解体工事範囲の境界点において汚染がないことが測定により確認されていること。

【確認項目（解体撤去物の細断作業時の管理）】

- 解体撤去物を細断する場合、他の作業から発生する廃棄物が誤って混在しないよう、作業場所を柵もしくはフェンス等で区画する等の措置が講じられていること。

【確認項目（解体撤去物の一時保管時の管理）】

- 細断した解体撤去物を一時的に保管する場合、他の作業から発生した廃棄物が誤って混在しないよう、保管場所を柵もしくはフェンス等で区画する等の措置が講じられていること。

【確認項目（解体撤去物の所外搬出に向けた車両積載時の管理）】

- 発電所外へ搬出する車両に解体撤去物を積載した状態で、放射線サーベイメータによる放射線測定を行い、その結果環境放射線レベル[※]と比べて有意な差がないことを確認していること。

【確認項目（解体撤去物の所外搬出時の放射線測定）】

- ゲートモニタによる放射線測定が適切に実施されていること、また測定中にゲートモニタの警報が鳴動しないこと。

※：ここでいう環境放射線レベルとは、車両が無い状態での測定位置の放射線レベルをいう。